

鶴宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.42(2025. 12月)

社会科同好会編⑬ 「第5回 弁護士トーク ~排外主義を考える~」

2025年12月19日(金)午後、社会科室で、生徒9名+社会科教員3名で、弁護士の太田さんからお話を聞く「弁護士トーク会」の第5回を開催。「外国人差別はなぜいけないのか」がメインテーマです。話し合うなかで、「日本人ファースト」という言葉は、「誰かがセカンド」、という考えにつながることや、「日本人が損をしてきた(誰かが優遇されている)」ように感じられることなどを自覚しました。選挙で、「治安が悪化している」「土地を買い占めている」などのSNSのデマに基づいた投票が行われるないためにはどうしたらいいのか、意見を出し合いました。



地を買い占めているなどのSNSのデマに基づいた投票が行われるないためにはどうしたらいいのか、意見を出し合いました。

参加した生徒の感想を紹介します。

◆「選挙ポスターを見る」ことが大事なのではないかと思った。実際に行くこと、自分の目で見ることも大切だと思った。何かを新たに知った時、自分の知識をもとに、疑問を持つてる人間でありたい。

- ◆日常生活を送っている分には、法律の専門家とお話しできる機会は少ないので、とても貴重な時間でした。何かの問題や事件に対して、誰かと話すことは普段しないので、これもまた貴重な時間でした。
- ◆ネットと深く結びついている10代だからこそ、ネットのデマには気を付けないといけないと思った。たくさん的人が賛同していると、「じゃあ本当のことなのかな」と思ってしまうからこそ、本当かのように言われているデマには慎重に関わらなければならないと思った。実生活と結びつけ、「こうは言われているけど実際にこの問題に出会ったことはないし、何か変じゃないか?」と疑問を持つことが大切だと思った。
- ◆経験があるということはすごくおおきな差だと思いました。私が体調が悪く家に帰ろうとしてタクシー乗り場に向かうと黒人の方が先にならんでいたのですが、私を見て来ていたタクシーをゆずってもらいました。その後に感じたのはこういった良い行いができる人の情報が世の中に広まるべきだと思いました。悪い情報の方が広まりやすく、目にとまりやすいですが、絶対に心の優しい人が多いから、そういう行いが広まって欲しいです。
- ◆差別とかデマとか自分が相手のことをよく知りたいする気持ちがあれば少しは変わらるのかなと思いました。最初、少年法とか少年事件について話をしてくださった時に、少年法が少し甘いなと思っていました。今日のお話で、少年側も実は少し被害を受けていて、最後に相手にケガをさせてしまったのが少年だったと聞いて、今までその展開を考えていなかったので、知ることが一番大事なんだなと思いました。
- ◆デマがすぐ伝わってしまう世の中で、ただ信じてしまう人もいるけれど、そうならないように現代では教育されているから、これからも気を付けていきたい。また、〇〇人は悪いっていう固定概念をなくして、決めつけないことを心に置く。
- ◆正直、デマのない社会をつくることはとても難しいし、完全になくすることはできないと思う。しかし、だから何もしないのではなく、自分だけでもデマに振り回されないという気持ちを持って物事を見ることが大切だと思う。総合型選抜の面接で「SNSやAIはいいと思うか」や小論文で「移民による日本社会の課題と解決策」について聞かれて、このようなことに対して、自分の意見を確立する必要があるのが今の社会なのかなと思った。